

日本語教育用 AV リソース公開サイト
「mic-J」: 2004 年の状況
<http://japanese.human.metro-u.ac.jp/>

西郡 仁朗

1. 自学自習システムの構築の経緯

東京都立大学には200名程度の留学生が常に在籍しているが、彼らに対する日本語・日本事情科目は数少ない。また、国立大学などでは留学生教育担当の専任教員が配置されているが、本学にはこれもない。筆者は、こうした厳しい環境の中で、留学生の日本語学習を支援する方法として、パーソナルコンピュータを用いた自学自習システムを構築してきた（西郡, 1999 参照）。はじめのうちは、HyperCard によるものが中心であり、スタンドアロン型での教材提供となっていたが、HyperCard の教材は Apple 社の MacOS クラシック環境上でしか動作しないため、汎用性に欠けるものであったし、教材をインストールしたパーソナルコンピュータ（Micintosh）は、特定の場所（国際交流会館の留学生交流室）にしかなく、利用者はこの部屋まで開室時間（平日午後1時から5時）中に行かなければならないという難点もあった。こうした問題点に対処するため、徐々に WEB による教材配布に切り替えていったが、その背景には、本学はネットワーク環境が整っていることや、学内至る所に Windows マシンがあり、留学生も利用可能な態勢となっていること、また、以前は必要であった留学生向けのコンピュータリテラシー（西郡, 1999 参照）が現在はほとんど必要なくなっている点などがある。

2. 公開WEBサイトの背景

日本語学習教育用視聴覚リソースとインタラクティブなマルチメディア自学自習教材が集積され、2001年6月に「mic-j」サイトとして試験公開が開始された。各リソースは各所の日本語教育関係者・学生、大学院生の協力を得て制作してきた。基本的には東京都立大学の留学生向けに公開しているものであるが、サイトは学外からのアクセスも可能であり、誰でも自由に試用することができる。幸い、学内外利用者には好評を博してきた。これが後押しとなって、学内のみならず、海外展開をも視野に入れた学外への開放が企図されることになった。

本サイトのような視聴覚リソース提供サイトを有効利用するためには、いくつかの問題がある（西郡 A, 2002 参照）。

第一の問題は、相当量のリソースがそろっていることである。西郡 A (2002) でも指摘したが、マルチメディア支援による語学教育には、デジタルデータをカスタマイズすることで、学習者一人一人に合わせたコースウェアが簡便に作成できるという利点があるが、これを行う前提として、十分なリソースが確保されていなければならないであろう。本サイト以外にも様々な視聴覚リソースを公開しているサイトなどがあるが¹、自由自在にコースウェアを作成するほどにはなってい

¹ 有力なものとしては国際交流基金日本語国際センターによる『みんなの教材サイト』

ない。量産が必要である。第二の問題は、日本語教育関係者のマルチメディア操作能力の向上である。各リソースはそのままでも試用できるが、「インタラクティブ」「編集・拡張」的な応用ができないと本当に有効な利用ができない。

第三に、通信速度の問題がある。現在のネットワーク回線では、海外から本学のサイトにアクセスし、動画・音声のやりとりを高速で行うのは難しい。ストレスの大きい通信となるため、実際にはアクセスが放棄される。

第四に、リソースがこのまま拡大していった場合の有効な検索方法の問題がある。

mic-J サイトは上記の問題に対応するため、日々進化している。以下に 2004 年 3 月時点での内容と、この時点までの活動や展開を記す。

3. 2004年3月時点でのサイト内容

先述の通り、リソースの充実はマルチメディア支援による教育と学習には前提条件となる。以下に 2004 年 3 月時点で公開されているリソースを示す (図-1 参照)。

The screenshot shows the homepage of the mic-J website. At the top, there is a header with the 'mic-J' logo and 'TMU SITE' text. To the right of the logo, there are links for 'ENGLISH', 'CHINESE', and 'KOREAN'. Below the header, there is a central text block that reads: 'このサイトは東京都立大学の留学生が日本語を自習するためのものです。しかし、教育目的であればどなたでもご自由にお使いいただけます。ただし、どこで使用しているか、どんな目的で使用しているか、素材の問題点などを管理人にお伝えいただければ幸いです。商用目的の使用はご遠慮ください。(最終更新日: 2004年3月20日) 管理人: 西郡 仁朗 NISHIGORI Jiro (東京都立大学) jjirom@bcomp.metro-u.ac.jp 「mic-J 関連論文」 サーバへのアクセス数 154737 1999年4月12日以降 (カウンター提供 digits.com)'. Below this text, there is a grid of resource categories. Each category has a title and a brief description. The categories are: 'ゆめをつむぐまち とうきょう' (夢を紡ぐ街-東京-) with description '超上級者向け。若い文化人へのインタビューと彼らが活動する東京の地域の紹介。QuickTime 動画つき。'; 'ぎたいご Onomatopoeia 擬態語' with description '擬態語についてのQuickTime動画・音声・説明と例文、英語・中国語・韓国語訳。'; 'ちょうかいレベル1 聴解レベル1' with description '日本語能力試験1級レベルの聴解クイズ。音声はMP3ファイル。'; 'ちょうかいレベル2 聴解レベル2' with description '日本語能力試験2級レベルの聴解クイズ。音声はMP3ファイル。'; 'じどうし たどうし 自動詞 他動詞' with description '自動詞と他動詞の対立のあることばを、QuickTime動画と音声で紹介。'; 'けいご 敬語' with description '相手・場面・話題の人物によって変わる敬語表現のQuickTime動画とスクリプト。'; 'しゃしんしゅう 写真集' with description '日本語の教材を作るときに便利な写真とキーワードを掲載。'; 'Vo.Asp.CHINA' with description '日本語の清音・濁音の聞き取り練習。中国語によるQuickTime動画・音声での説明と練習。'; 'Vo.Asp.KOREA' with description '日本語の清音・濁音の聞き取り練習。韓国語によるQuickTime動画・音声での説明と練習。'; 'あうん' with description '初級会話のクイズ付きビデオキット「あうんでいこう」のWEB版。QuickTime動画つき。'; 'しぜんかいわ 自然会話' with description '初対面会話のデータと分析方法。'. The background of the page has a repeating 'mic-J' watermark.

図-1. mic-J 日本語版トップページ

(<http://momiji.jpf.go.jp/kyozai/>) などがある。

3-1. 夢を紡ぐ街 -東京-²

すでに上級に達している学習者を対象とした内容で、東京で活躍する若手文化人へのインタビューを通じて、新しい日本文化論、東京の人々の話しことばや談話構造、東京諸地域の紹介を行う内容である。動画とスクリプト、ヒントからなる。詳細は西郡A (2004) および西郡・篠崎 (2004) を参照されたい。

3-2. 擬態語

擬態語が直感的に理解できるように制作された動画と、日本語・英語・中国語・韓国語による解説からなり、2001年度から公開されている。現在25語で、動画ファイルにはQuickTimeMOVとAVIが併用されている。

3-3. 聴解クイズ - レベル1

聴解行動・日本語コミュニケーションの特徴、語彙と文型の統制などを踏まえて制作された。一応のモデルとしたのは日本語能力試験であり、通常「上級」といわれる1級レベル相当となるよう配慮されている。問題の詳細と分析については西郡・宮田 (2003) を参照されたい。現在39問で音声ファイルにはMP3が使用されている。

3-4. 聴解クイズ - レベル2

上記レベル1同様、聴解行動・日本語コミュニケーションの特徴、語彙と文型の統制などを踏まえ、日本語能力試験をモデルとして制作された。通常「中級」といわれる2級レベル相当となるよう配慮されている。インタラクティブ・クイズとダウンロードページからなる。現在62問で音声ファイルにはMP3が使用されている。

3-5. 自動詞・他動詞

自動詞と他動詞の対立のあることばを、動画と音声で紹介している。言語文化研究所制作のCD-ROM教材『日本語玉手箱』の動画部分を許可を得てWEB版とした。2001年度から公開されており、現在7対14語で、38の動画ファイルにはQuickTimeMOVとAVIが併用されている。

3-6. 自然会話データ

偶然の初対面会話のデータと分析方法を示したもので、2001年度から公開されている。詳細は西郡B (2002) を参照されたい。

3-7. 敬語

依頼を表現意図とした敬語使用場面を動画とスクリプトで示している。相手・場面・話題の人物による変化に焦点を当てた内容であり、敬語使用の分類は『敬語表現』(蒲谷・川口・坂本、1998)

² この教材の研究開発については平成15年度東京都立大学総長特別研究費の助成を得た。

に準拠している。2004年度にデータベース化され現在41場面からなる。データベースのサンプル内容については西郡B（2004）を参照されたい。

3-8. 写真集

日本語の教材を作るときに便利な写真とキーワードが掲載されている。キーワード検索機能付きで2001年度から公開されている。内容は日々更新される性質のものであるし、個々の写真ファイルは大容量ではないため、後述する海外サイトにデータは置かず、日本のサイトへリンクする構造となっている。2004年度にデータベースの改良が行われ、現在705枚の写真が所蔵されている。データベースのサンプル内容については西郡C（2004）を参照されたい。

3-9. VoAsp-CHINA

中国人学習者にとって困難な日本語の有声・無声子音の聞き取りについての自学自習の内容となっている。動画、音声、テキストデータ、インタラクティブ・クイズなどにより、日中の音声体系の相違などを母語で理解した上で、聞き取り練習ができる。詳細は西郡・小松・尾崎・馮（2004）を参照されたい。

3-10. VoAsp-KOREA

韓国人学習者にとって困難な日本語の有声・無声子音の聞き取りについての自学自習の内容となっている。動画、音声、テキストデータ、インタラクティブ・クイズなどにより、日韓の音声体系の相違などを母語で理解した上で、聞き取り練習ができる。詳細は西郡・朴・崔・朴（2004）を参照されたい。

3-11. 初級会話『あうんで行こう！』WEB版

市販のビデオ教材『あうんで行こう！』をWEB版としたもので、著作権者である(株)ジャパンライムの厚意により2002年度に公開が実現した。インタラクティブ・クイズとダウンロード用のページからなる。詳細と試用結果については西郡・尾崎（2003）を参照されたい。クイズ48問、ダウンロード可能な動画ファイル192等からなっている。動画ファイルにはQuickTime MOVとAVIが併用されている。

4. リソース共有サイトの開設および伝播活動

先述の通り動画や音声などの容量のかさむファイルをダウンロード、ストリーミングするためには、ネットワーク回線の通信速度が問題となる。クリックしてから動画の再生までに数十秒以上かかると、多くの利用者はアクセスを放棄する。動画・音声ファイルの圧縮技術も進んでいるが、遠隔地、特に海外からのアクセスは、事実上時間がかかりすぎて不可能と言える。この問題への対応の一つは海外のブロードバンド回線網、特に基幹的な役割を果たしている大学にサイトを移転することであろう。そうすればそのLANの中ではもちろん、近隣の大学でも比較的高速でアクセスすることができる（西郡，2003参照）。

これまでのところ中国上海の復旦大学、タイ王国チュラロンコン大学にリソース共有サイトが設けられている。以下にその URL を示す。

中国上海 復旦大学 国際関係与公共事務学院

<http://www.sirpa.fudan.edu.cn/>

タイ王国 バンコク チュラロンコン大学 文学部日本語学科

<http://www.arts.chula.ac.th/~japan/>

リソース共有サイトの開設については、相手先大学に赴き、サーバー管理者との打ち合わせや、日本語教員との利用方法に関する検討会等を催した上で行ってきた。こうした交流活動を通じて、教育工学的手法、特にカスタマイズの可能性についての伝播が、ある程度はできたと思われる。

中国では、西安の西安外国語大学・西北大学にも同様のサイトを開設する予定であったが、2003年の新型急性肺炎（SARS）の流行や、同地での反日騒動などのため、渡航が困難となり現在までのところサイトは開設されていない。しかし、データそのものは送られており、「VoAsp-CHINA」の西安両大学での試用実験など交流自体は継続されている。今後、西安を含め、海外でのリソース共有サイトの展開を図っていきたい。

国内については、大学間ネットワークのブロードバンド回線を通じれば、東京都立大学のWEBサーバーへのアクセスは比較的高速で可能であり、動画の再生にも大きな問題はない。ただし、回線が混雑する時間帯には、やはり相当時間がかかる。

大学間ネットワーク上にない場所からのアクセスについては、通信の回路により速度はまちまちであり、一概には言えないが、動画再生までに相当のストレスを感じる場所が多いようである。現在、大学間ネットワーク外の組織である言語文化研究所にリソース共有サイトを開設し（研究所内開放のみ）運用実験を行っている。

さらに、一部素材（『夢を紡ぐ街 -東京-』、『VoAsp-CHINA』、『VoAsp-KOREA』）については、DVD-ROMおよびCD-ROMの配布を通じた伝播を行う予定である。

5. データベース化

リソース数が増えると適当なリソースを探し出すツールが必要となる。本サイトにおいても、写真集についてはPerlを用いたCGI検索を用いてきたが、今後のリソース増加に備え、リレーショナルデータベースの構築に着手している。データベースの外部公開が比較的簡便にできるアプリケーション「ファイルメーカープロ」を採用し、現在一部を試験的に公開している。その概要については、本報告集の西郡B(2004)、西郡C(2004)を参照されたい。

6. 終わりに

リソースの研究開発と海外でのリソース共有サイト開設やその際の交流活動により、先に挙げた解決すべき諸点（リソース量の充実、マルチメディア操作能力向上、ストレスのないアクセス、有効な検索方法の確立）に対処してきた。徐々に成果が上がってきているが、こうした活動には継続性が肝要である。今後ともすべての面での向上を図っていく。

引用文献

- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵(1998)『敬語表現』大修館書店
- 西郡 仁朗(1999)「マルチメディアによる留学生の日本語学習支援」『人文学報』301号, 東京都立大学人文学部, 1-20頁
- 西郡 仁朗A(2002)「日本語教育用 AV リソース公開サイト「mic-J」について」『日本語研究』21号, 東京都立大学国語学研究室, 117-134頁(転載: 文部科学省科学研究費報告書(基盤研究B(1))『外国語教育のためのWebサーバー/モバイル技術を活用した教育環境の基礎的研究』(研究代表者: 大岩元), 2002年)
- 西郡 仁朗B(2002)「自然会話データ『偶然の初対面の会話』～その方法論について～」『人文学報』330号, 東京都立大学人文学部, 1-18頁, (転載: 文部科学省科学研究費報告書(基盤研究C(2))『多文化共生社会における異文化コミュニケーション教育のための基礎的研究』(研究代表者: 宇佐美まゆみ), 2003年)
- 西郡仁朗(2003)「中国復旦大学での「mic-J」サイトの開設」, 『人文学報』340号, 東京都立大学人文学部, 17-26頁(本報告集に転載)
- 西郡仁朗・尾崎和香子(2003)「日本語初級会話『あうんでいこう!』WEB版の公開と試用結果」, 『人文学報』340号, 東京都立大学人文学部, 1-13頁(本報告集に転載)
- 西郡仁朗・宮田剛章(2003)「上級レベル聴解素材のWEB公開と項目分析による素材の評価」, 『日本語研究』22号, 東京都立大学国語学研究室, 155-171頁(本報告集に転載)
- 西郡仁朗A(2004)「新しい日本文化論と日本語教育のためのマルチメディア・コンテンツ『夢を紡ぐ街 - 東京 -』の研究開発」本報告集
- 西郡仁朗・篠崎晃一(2004)「新しい日本文化論と日本語教育のためのマルチメディア・コンテンツ『夢を紡ぐ街 - 東京 -』 スクリプトとヒント」本報告集
- 西郡仁朗・小松恭子・尾崎和香子・馮秋玉(2004)「中国人初級日本語学習者の有声音・無声音の知覚について～マルチメディア教材の開発と学習効果～」『日本語研究』23号, 東京都立大学国語学研究室(印刷中、本報告集に転載)
- 西郡仁朗・朴良順・崔文姫・朴志仙(2004)「韓国人初級学習者の日本語有声音・無声音の聞き取り～マルチメディア教材の開発と学習効果～」『日本語研究』23号, 東京都立大学国語学研究室(印刷中、本報告集に転載)
- 西郡仁朗B(2004)「日本語教育用敬語ビデオスキット・データベースのサンプル」本報告集
- 西郡仁朗C(2004)「日本語教育用写真データベースのサンプル」本報告集